

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第9回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

平成28年度地域活動支援事業（追加募集）について（公開）

①提案者による提案説明、質疑応答

②委員同士の意見交換

## 3 開催日時

平成28年8月26日（金）午後6時00分から午後7時30分

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、  
磯田一裕、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、小林克美、田村利男、  
田村雅春、中澤武志、丸山朝安、水澤敏夫（欠席5名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主事

## 8 発言の内容

### 【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【青山恭造会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：中澤委員、丸山委員に依頼

議題【協議事項】平成28年度地域活動支援事業（追加募集）について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・本日の議事の流れについて説明

【青山恭造会長】

では、これから提案者による事業説明に入る。

「No.1 《直江津港から元気発信》事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.1 《直江津港から元気発信》事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【青山恭造会長】

提案者に対し質問等はあるか。

【今川委員】

港町の看板設置場所に以前行って見たが、一度草刈りを実施したような感じだった。今後の草刈りについてはどうか。

【提案No.1 《直江津港から元気発信》事業提案者】

今川委員が現地を見られた際は、地権者の方から協力いただき草刈りを実施した後であると思う。今後、採択いただいた後に「草刈り」、「土地整備」、「種まき」、「管理」を実施していく。

【今川委員】

昨年度は、草刈りをしなかったのか。

【提案No.1 《直江津港から元気発信》事業提案者】

昨年度は、大規模な草刈りは実施しなかったが、今回、採択いただければ、当会の会員と港町の方からボランティアを募り実施する予定である。

また、種まきは、港町町内会へお願いし、地域の方や子ども達が参加出来るようなかたちで実施していきたいと考えている。

【田村雅春委員】

2点伺いたい。

1点目は、貴会の活動区域である「直江津港周辺」というのは、どこからどこまでを指すのか。

2点目は、看板に「平成28年度地域活動支援事業」という文字を入れるのかどうか。

**【提案No.1 《直江津港から元気発信》事業提案者】**

確かに、提案している事業実施場所は、直江津区以外の場所である。会の中でも、「本来、直江津区に提案するものではないのではないか」という意見もあった。ただ、直江津港は、釣り客が自由に釣りをする場所ではないことから、当会の大きな目的の一つは、「直江津にとって釣り客は大事な観光資源」と位置付け、釣り客を誘致できるような場所を何とか作っていくことである。直江津区から若干外れることになるが、直江津区の釣り人の方を含めて、県外の方も直江津区を通過して釣り場に足を運ぶ方が多い。第3東防波堤の管理等、連携し、釣り客の皆さんが直江津区に寄っていただけるような仕組み作りをしていくことが、当会の願いでもある。

当会の活動の中心は直江津区だが、当会の活動目的を考えると、直江津区外にも、看板を立てる意味があると思っている。

2点目については、看板に「平成28年度地域活動支援事業」の文字を入れさせていただく。

**【田村雅春委員】**

「直江津港周辺」は、どこからどこまでか。

**【提案No.1 《直江津港から元気発信》事業提案者】**

厳密に線引きはしていないが、直江津港を中心として、港を目的として来られる方が、足を運ばれるであろう地域を考えている。当会の会則では「佐渡との交流」も含まれており、直江津港から佐渡へ行く方も、当会の力で盛り上げていきたいという思いもある。

**【田村雅春委員】**

看板の設置場所は、直江津港周辺なのか。

**【提案No.1 《直江津港から元気発信》事業提案者】**

PRする先は直江津も含め市外や県外にまで及ぶが、設置場所は直江津港周辺である。

**【増田副会長】**

看板に「ようこそ直江津へ」というような文字を入れていただきたい。

また、看板のイメージ図にある男児の手に不自由さを感じられるかもしれないので、配慮をお願いしたい。

**【青山恭造会長】**

これは要望なので、お願いしたい。

では、以上で終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.2 直江津水族館ロード（仮称）アート修景整備事業」について、提案者へ補足説明を求める。

**【提案No.2 直江津水族館ロード（仮称）アート修景整備事業提案者】**

・提案書に基づき補足説明

**【青山恭造会長】**

提案者に対し質問等を求めるがないため、終了とする。

以上で、提案者による提案説明が終わりとする。

続いて、「特記事項」の扱い方について意見を求める。

**【田村利男委員】**

増田副会長が発言されたように、看板に「ようこそ直江津へ」、「平成28年度地域活動支援事業」という文字を入れていただきたい。

**【青山恭造会長】**

では、今の意見について、賛成の方は挙手願いたい。

（10名挙手）

では、採択されたら特記事項として事務局から提案者へ伝えていただきたい。

**【今川委員】**

地域活動支援事業の前に「直江津区」という言葉も入れていただきたい。

**【中澤委員】**

附帯意見は採択事業に対してなので、今の協議は採択後のほうがいいのではないかと。

**【荒木係長】**

本日は、ヒアリングだけで採決は行わない。この後、各委員から「採点表」と併せて提出いただく採択事業の「特記事項」については、次回の会議で、事業の採択が決まった場合に、附帯事項とするかどうかを決めていただきたい。

**【青山恭造会長】**

では、そのようにしたい。

次に、今後の流れについて事務局へ説明を求める。

**【荒木係長】**

・採点表の記入方法について説明

採点表の締め切り：8月29日（月）午後5時まで

次に「その他」について、5点説明させていただく。

①地域活動「福島城を愛する会」の見学について

先回の会議で、田村利男委員から提案された『地域活動「福島城を愛する会」の見学』について説明する。

- ・候補日：9月15日（木）10時～12時
- ・見学後、レインボーセンターに場所を移し、意見交換会を開催予定

【今川委員】

見学場所に駐車場はあるのか。

【荒木係長】

古城小学校の駐車場に駐車してよいが、参加人数によってはマイクロバスを使用したいと考えている。

【青山恭造会長】

では、参加できる方の挙手を求める。

（7名挙手）

【荒木係長】

②資料「直江津区の人口・世帯基礎データ集（直江津区）」に基づき説明

③立地適正化計画の説明会について説明

・直江津区での説明会実施日：9月25（日）16時30分～18時 謙信交流館にて  
まずは、ぜひこの説明会に出席していただき、その上で、直江津区地域協議会として確認したい点等があれば、協議会の場で説明を聞きたいと考える。

④委員の勉強会のアンケート結果について報告

⑤住民との意見交換会（開催予定日・交換会の内容）について説明

【青山恭造会長】

次に、関川センター長から「(仮称)厚生産業会館」の進捗状況について説明を求める。

【関川センター長】

先日、委員より「(仮称)厚生産業会館について、進捗状況を教えてほしい」とお話があった。担当の南部まちづくりセンターや高田区地域協議会の会議録でも確認したが、最近は、地域協議会としての動きは特になかった。

もう少し状況を整理した上で、報告させていただきたい。

【青山恭造会長】

では、事務局の説明に対し、意見等はあるか。

**【磯田委員】**

立地適正化計画の説明内容というのは、どこの会場でも同じような説明をするのか。

**【関川センター長】**

そうである。直江津区の開催日に都合が付かなくても、他の会場で同じ内容の説明が受けられるということである。

**【磯田委員】**

「住民との意見交換会」だが、開催予定の10月15日（土）は“鉄道まつり”が開催され、直江津駅でイベントがある。そのため、参加人数に影響があると思われる。

**【青山恭造会長】**

では、日にちについては、再度調整させていただく。

他に意見等はあるか。

**【中澤委員】**

（仮称）厚生産業会館についてだが、特に高田区地域協議会との関わりについて知りたい。それと、現在、どれくらいまで工事が進んでいるのか。

**【関川センター長】**

以前、「意見書」を出した経緯があったかと思うが、それ以降は動きがない。

**【中澤委員】**

「動きがない」ということは、市は計画どおり実施し、特に高田区地域協議会に対して意見を聞いたりすることはないということか。

**【関川センター長】**

そうである。それを高田区地域協議会で話題として協議をしているかと言ったら、それもない。

**【青山恭造会長】**

7月1日から名称を募集している。

**【増田副会長】**

設計変更もあったが、私も詳細なことまでは承知していない。

直江津区地域協議会でも、新水族博物館開業後の渋滞対策について自主審議を行っているが、（仮称）厚生産業会館についても、例えば、開業後に渋滞が懸念されるのではないかと思う。そういった市民からの声に市がどう対応するかというのは、我々としても

関心があるので、情報いただきたい。

**【田村雅春委員】**

立地適正化計画の説明会についてだが、説明内容は、市民の意見を聞いて「良い、悪い」を議論するのか。または、すでに案が決まっていて、上越市が一方的に説明して終わりなのか。

**【荒木係長】**

計画案を説明し、意見を聞く場だと思われる。

**【田村雅春委員】**

資料を見ると、街中が活性化するためだけのものであって、その周りの住民はどうなるのか等、疑問がある。

**【増田副会長】**

資料に「住民の意見を踏まえた計画にするため、町内会長や住民等を対象に住民説明会を行う」と書いてあるので、当然、意見を言う時間もあると思っている。

**【青山恭造会長】**

他に事務局から何かあるか。

**【荒木係長】**

・次回協議会：8月31日（水）午後6時から

平成28年度地域活動支援事業（追加募集）の採択審議を予定。

**【青山恭造会長】**

その他に何かあるか。

**【増田副会長】**

事務局で確認していただきたいのだが、毎年秋に、「地域活動支援事業と地域協議会の制度について、改善点等はないか」というアンケートを委員対象でやっている。今期は、委員改選があったので、当然アンケートがあると思っているが、今からでも気付いたことがあれば、まとめておいていただきたい。

もう一つは、地域協議会毎に意見内容をまとめるよう依頼があるが、会としてまとめてしまうと、個々の委員が何を考えているのかが埋没してしまう。直江津区では以前から、委員一人ひとりの意見を大切にするため、直江津区地域協議会としての意見を出すほかに、個々の委員の意見も参考意見として付けてもらうようお願いしている。出来れば、今回は新委員もいるため、全員の声を集めてほしいと思う。

例えば、以前出された意見であっても、新委員の新しい発想で出た意見というのは、非常に大事だと思う。

**【磯田委員】**

J Tの跡地についてだが、その後の新しい情報があれば教えていただきたい。

住民の意見を聞く場を特に設けないということだったが、地域協議会で意見を聞く場を設けるのか、設けないのか。その議論も、まだされていない。先ほど事務局から説明があった「直江津のまちづくりを話し合う会」に絡めて、この話をすることもありだと思う。ただ、公募が11月となっているので、それに合わせて調整をしていくとなると、かなりタイトなスケジュールになると思う。

まずは、事務局からJ T跡地の進捗状況を確認していただきたい。

**【荒木係長】**

把握していることは、現在、プロポーザルの募集要項を作成しており、それを9月末から10月上旬までに固める予定であるということである。

**【増田副会長】**

産業振興課としては、地域住民から意見を聞く場を設けるつもりはない、と言っているが、仮に今の状態で地域協議会が意見書を出したとしても、実現しないであろうと思っている。それなら、「住民との意見交換会」の中で、J Tの跡地利用の問題を主として取り上げる訳ではないが、話し合いの中で「J Tの跡地利用」の意見が出された場合は、「意見交換を開催した結果、こういう意見が出た」ということを踏まえて、市長宛に意見書を出すということはあると思う。

地域協議会として、「やれることはやっていく」というスタンスで行きたい。

**【中澤委員】**

秋に向けてのスケジュールが出てきているが、委員も替ったので、視察についても動き出さないといけないと思う。

**【増田副会長】**

前々から青山恭造会長が言われている、群馬県富岡市が世界遺産に登録され、どのようにしてお客様を取り入れているというのを見て来たい。

それと、上田市もどのようにお客様を迎え入れて、どのように看板整備等をしているか、いかに観光に結び付けているかを見てくるのもよいのではないかと思う。

**【青山恭造会長】**



皆さんからも、いろいろな案を出していただきたいと思います。

・「新水族博物館を核とした地域活性化検討委員会」では9月2日（金）に新津市を視察  
予定と情報提供

・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。